## 新たに公的年金から引き落とされるかたの徴収方法(平成21年度以降)

初年度(初めて引き落としされる年度。21年度は対象者すべてがこの方法です)

初 年 度									
徴収方法	納付書で納める	る【普通徴収】	年金から引き落とし【特別徴収(本徴収)】						
月	6 月	8 月	10 月	12 月	2 月				
徴収額	年税額の 4 分の 1	年税額の 4 分の 1	年税額の 6 分の 1	年税額の 6 分の 1	年税額の 6 分の 1				
例〔収入が公的年金のみで平成21年度の年税額(均等割と所得割の合計額)が6万円の場合〕									
税 額	1万5千円	1万5千円	1 万円	1 万円	1 万円				

- 年税額の 4 分の 1 ずつを、普通徴収の第 1 期・第 2 期の納付期限までに、納付書または口座振替で納付していただきます。 年税額の 6 分の 1 ずつを、10月・12月・2月に年金から引き落とします(本徴収)。 ◎年度の前半
- ◎年度の後半

# 前年度に引き続き公的年金から引き落としされるかたの徴収方法(平成22年度以降) 2年目以降(前年度から継続して引き落としされる年度)

2 年 目 以 降								
徴収	方法	年金から引き	落とし【特別徴	収(仮徴収)】	年金から引き落とし【特別徴収(本徴収)】			
F	₹	4 月	6 月	8 月	10 月	12 月	2 月	
徴业	又額	前年	・ 度2月と同じ額を	徴収	年税額の残りを3分の1ずつ			
例〔収入が公的年金のみで年税額が4万5千円、前年度2月の引き落とし額1万円の場合〕								
税	額	1 万円	1 万円	1 万円	5 千円	5千円	5千円	

- ◎年度の前半 前年度2月と同じ額を、4月・6月・8月に年金から引き落とします(仮徴収)。
- 確定した年税額から年度の前半で引き落としした分を差し引き、残りを3回に分けて ◎年度の後半 10月・12月・2月に引き落とします(本徴収)。

附金控除の対象となります。

## ■寄附金控除のモデルケース

### 大館市に寄附をしたAさんの場合

☆家族構成 本人(給与所得者) 妻、子供2人(被扶養者)

平成19年中	寄 附 金 1万円の場合	所得税の軽減額 300円 軽減	
給与収入 500万円 給与所得 346万円	3万円の場合 3万円の場合 5万円の場合 10万円の場合	1,300円 軽減 1,300円 軽減 2,300円 軽減 4,800円 軽減	

平成20年中 所得税と市県民税 寄附金 からの合計軽減額 5,000円 軽減 1万円の場合 給与収入 500万円 3万円の場合 17,400円 軽減 給与所得 346万円 5万円の場合 20,400円 軽減 10万円の場合 27,900円 軽減

までどおり全国の都道府県・市町村で寄 や日本赤十字社支部への寄附金は、これ 民税4%が税額控除で控除されます。 附金税額控除の対象になります 5千円を超える分は、市民税6%、 なお、住所のある都道府県共同募金会

体などへの寄附金

※就職した年は、

前年に所得が無けれ

住民税とも

退職した年は、

現時点で所得が無く

前年の所得金額に

ば市・県民税は課税されませんが、

なった場合でも、

などに寄附したときは、

市・県民税の寄

県

く均等に市民のかたに負担していた行政施策に要する費用の一部を、広

基づいて市・県民税が課税されます。

だく趣旨で設けられているもので、

前年中の所得金額が一定以上のかた

に負担していただく税金です。

都道府県・市町村が条例で定める団体

割額のおおむね1割を上限に、 合わせて全額が控除されます。 ○都道府県・市町村が条例で指定した団 )県・市への寄附金(ふるさと納税 5千円を超える分は、 市·県民税所得 所得税と

|寄附金の税制が変わりました||平成20年1月1日以降の

変更点

2

用 語

市・県民税 の合計額で計算します。 言います。 ただく地方税で、 前年中の所得金額に基づき納めてい 均等割と所得割と

なっています。 を求めますが、

税金です。所得税を基準に所得金額 前年の所得金額に基づいて算出する 控除額は所得税と異

特別徴収 通徴収 年1月の年4回、 振替で納付する方法です。 市・県民税を6月、 納付書または口座 8月 10月、

33 77

10月・12月・翌年2月は年金から引 8月は普通徴収で納付していただき、 年金受給者の場合は、今年は6月と 給与所得者の場合、事業所が市・県 給与所得者や年金受給者が対象です。 年5月までの12回で全額納付します。 き落としされます。 市に納付する方法です。 6月から翌 民税を毎月の給料から引き落として